



# おとうさんコーラス 30周年に寄せて



20回以上ご出演いただいた  
合唱団から記念メッセージ  
を寄せていただきました。



## Il Campanile

バリトン・パートリーダー 伊藤孝雄

おかあさんコーラス華やかなりし（今でもそうですが）ころ、男声合唱を心から愛する故小高秀一先生が「おかあさん」があるなら「おとうさんコーラス大会」をやろうと。そしてどうせならドイツのピヤホールのようにということで、川口のビール工場でスタートしたこの大会が、30年続けていることを先生もお喜びのことと思います。初めのころは第2部がメインで（私は、今でもそうですが）第1部の演奏で途中で止まってやり直したり、聴いているまわりの団体が一緒に歌ったり、2部を待ちきれずに最初から飲んできた様な団体もあり、なんでもありでしたね。6年前に先生の容体が思わしくなく、急速代わりに北斗の海を振った2013年の埼玉男フェス、ちょっとつらい思い出です。

30回



## 男声合唱団コール・グランツ

男声合唱プロジェクトYARO会主宰/団長  
加藤良一

1990年夏、ビール工場でスタートしたおとうさんコーラス大会、ジョッキ片手に歌い始めて早や30年。埼玉から関東へと名称を変えながら歌声の輪を大きく広げ、その活動から男声合唱プロジェクトYARO会さらに男声合唱団ヴィヴ・ラ・コンパニーが生まれました。大御所多田武彦先生からのご指導も仰ぎ、多田武彦〈公認サイト〉の開設へと発展しています。

<http://www.max.hi-ho.ne.jp/rkato/>

30回



## グリーナインズ

団長 浅子 元

「おとうさんコーラス30周年」誠におめでとうございます。普段混声合唱の練習をしている私たちにとって、男声合唱への憧れは根強いものがあります。毎年、秩父への遠征はお酒がなくても（？）参加するのが当たり前でした！その昔の川口、川越で開催の頃から出演を重ね、齢も重ね、私たち「おとうさん」もいつしか「おじいさん」になりましたね～。しかし今日は「おにいさん」の気持ちを忘れずに頑張って歌います！

28回



## 志木グリークラブ

代表 和氣敏夫

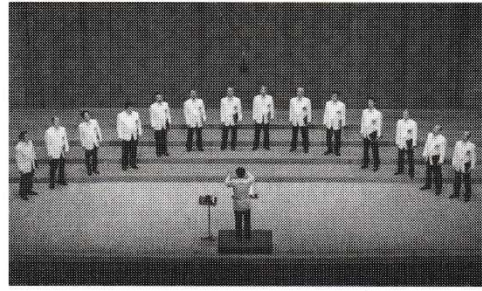
志木グリークラブが初めておとうさんコーラス大会に出場したのは、第3回（1992年）である。ミッチ・ミラー合唱団を目指して〈笑〉、団創設2年目のこと。

「線路は続くよどこまでも」「The Longest day」「大脱走のテーマ」を歌った。「線路」は無事歌ったが、「The Longest day」の途中で演奏が止まった。会場から嘲笑の声。初めからやり直した。「大脱走」が終わると逃げるようにステージから降りた。それでも「ブラボー！」の声。

あれから28年が経過。あの時の感動が忘れられず、連続出場している。団員は半減し、高齢化と物忘れが進行中。

ミッチ・ミラー合唱団の姿は遙か遠く、見えなくなった。

28回



## 男声あんさんぶる「ポパイ」

伊藤博行

第13回（2002）の新潟県小出郷の時です。懇親会の席上、ポパイを含む埼玉県内5団体の代表が意気投合して合同演奏会を開こうということになり、翌年の2003年11月に第1回の演奏会（YARO会）が開かれ、各団の演奏のほか合同演奏には「富士山」を歌いました。現在は各団の有志によるヴィヴ・ラ・コンパニーにて引き継がれています。この大会が基で新たに共に歌うグループが誕生することは男声合唱ならではのことであります。

28回

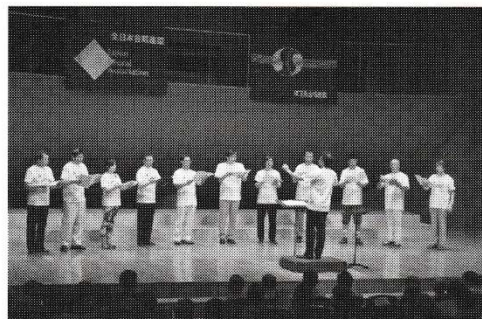


## ドン・キホーテ男声合唱団

幹事長 平田泰敏

第一部では如何に楽しく歌うかを競い、第二部では喉を潤わせつつ大勢でステージに立つ。気付けばステージは応援の女性陣に占領されつつある。それを達観した様子で飲み続ける。実にお父さんらしいコーラス大会と思ったものでした。あれから30年、会の名称は変わりましたが今でもつい「お父さんコーラス大会」と言ってしまうのはおじいさんになったせいだろうか。この味わい深く楽しい集いがいつまでも続くことを願っています。

25回



## 男声合唱ハゲマス会

埼玉県合唱連盟参与 新祖 章

おとうさんコーラス30周年おめでとうございます。おとうさんコーラス大会は、田尻明規2代目理事長時代に、当時副理事長だった小高秀一3代目理事長や事務局長だった宮寺勇4代目理事長らの発案で始まったものですが、当時珍しかった大人の男声合唱を盛り上げていこうと、連盟の役員を中心に結成され、大会に出演したのが「男声合唱ハゲマス会」でした。名前の由来は、もちろん男声合唱を励ますということから来ていましたが、同時に田尻、小高両先生の頭からも来ていることは有名な話です。その後、当代の理事長の指揮によって代々の役員を中心に編成され、今日に至っています。

埼玉県でのこの取り組みをきっかけに、全国に大人の男声合唱大会の輪が広がっていきましたが、今後も、楽しい連盟行事としますます発展されることを心から願うものです。

24回



前列中央は、小高秀一氏（当時トコメンの指揮者）

## 所沢メンネルコール

相談役 師井光男

「おとうさんコーラス大会」が今年30周年を迎えるとの事。おめでとうございます。私達“とこめん”は「所沢で第九を歌う会」から独立したのが1987年、今年7月に第33回定演を済ませました。お互いに長くやって来ました。会では各チームが持ち歌？を歌った後、「乾杯」が入り「男声定番」が次々に歌われ、皆がステージに登り発散を尽くす。全く異色の楽しい合唱祭を味わって来ました。引き続き長く続いて欲しい埼玉のイベントです。

23回

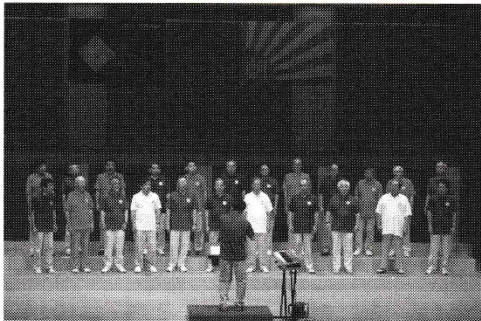


## 常磐ひたちメンネルコール

団長 小林佑治

当団は昨年25周年を迎え「第10回記念定期演奏会」を盛大に行うと共に「創立25周年記念誌」も刊行しました。団発足2年目に「第5回おとうさんコーラス大会」（川越）に初参加させて頂いてからのお付き合いです。2011年の日上市での開催、リトアニア遠征等々、多くの思い出を頂戴し感謝しております。

22回



## 静岡男声合唱団

団長 飯田優士

30周年おめでとうございます。静岡県では男声合唱団の団体数も少なく切磋琢磨するにはおとうさんコーラス大会が一番！と考え、1996年からの参加をさせて頂いています。オープニングから全体での「いざ起て」「柳河」等で声出したあの盛大な音圧、あの快感は今だに忘れられません。

今年は当団の30周年記念演奏会の日と重なり、誠に残念ながら不参加となりますが、盛会をお祈りしております。

また一緒に歌える日を楽しみにしています。

21回



## 男声合唱団メンネルA.E.C.

バス 新島聡幸

1999年1月に上尾市に創立。その年の8月、第10回おとうさんコーラス大会に参加しました。男声合唱が好きという共通の趣味を持った人たちが共に歌いまた聴きあう。そして二次会ではビールで乾杯してまた歌い続ける。こんなに楽しいことはそうはありません。お付き合いの広がった仲間と歌いたくて毎年参加させて頂いていたら20年経ちました。この素敵な会を支えて下さる開催県の合唱連盟の方々のご努力に感謝しています。

21回